

さいたま市立美園南中学校

地域とともに歩みだす中学校

さいたま市立美園南中学校は、さいたま市東部の副都心である浦和美園地区に位置し、埼玉高速鉄道浦和美園駅及び埼玉スタジアム2002などを中心に土地区画整理事業により国際交流、自然環境、都市的利便性が調和した街づくりが進められている地区に、さいたま市で58校目の中学校として計画された。

この地域は大規模マンション開発等により、子育て世帯の転入が増え生徒数が増加しており、今後も引き続き生徒数の増加が見込まれることから、教室不足となっている既存中学校の分離新設校として開校した。

校舎は、正門から学びの道と称した1本の軸を中心に校舎棟と一般開放施設となる屋内運動場棟を分け、明快な配置としている。正門前にコミュニケーションを誘発する場所として、学校の格にふさわしい出会いの広場を設定する。そして校舎棟と屋内運動場棟をつなぐ渡り廊下・空中歩廊を設け、生徒の活動が見える

形とし、上部に広場全体を覆い様々な活動を包み込む学校のシンボルとなる大屋根を設けている。

地区の都市デザイン課題「美しい街の実現」を意識し、公共空間としての高質な街並み形成を目指した。

(株式会社 松下設計 本文●頁)



北側鳥瞰



北側外観。正門から一直線に伸びる学びの道が校舎棟と屋内運動場棟を分ける



南側外観。グラウンドから見た校舎



北側外観。1階各特別教室にワークテラスがある



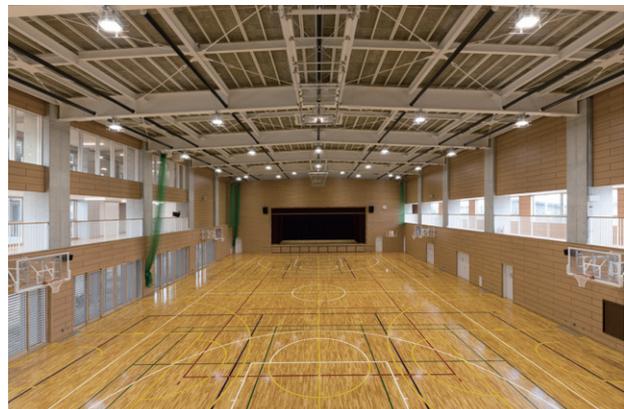
普通教室



昇降口 床・天井・家具・建具を木質化



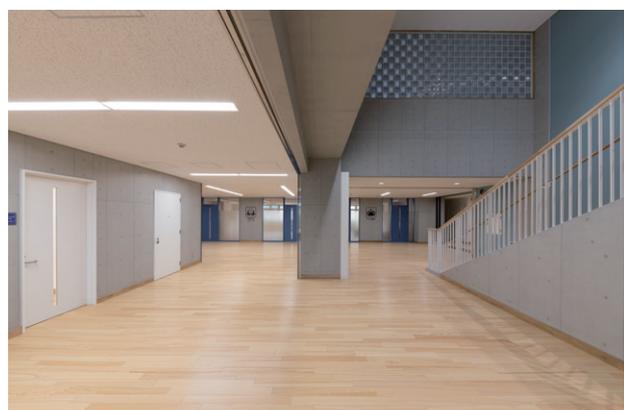
渡り廊下 校舎棟と屋内運動場棟を繋ぐ



屋内運動場棟 アリーナ



武道場 柔道・剣道に取り組むことができる



屋内運動場棟 玄関ホール。奥に地域交流ラウンジ・PTA会議室がある